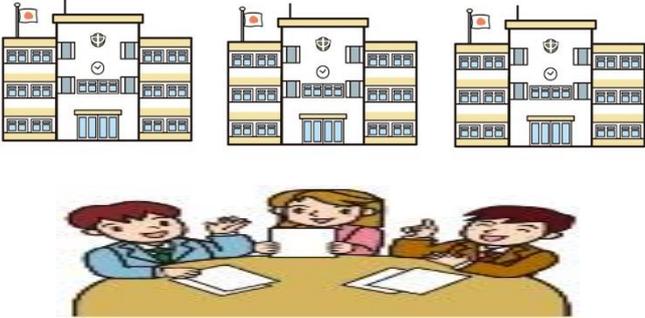


コミスクの形態はいろいろ



## コミュニティ・スクールの形態はいろいろ…

タイプ	形態				
<b>A</b>	<p data-bbox="293 510 743 546">学校、それぞれ独自で組織</p>  <table border="1" data-bbox="293 815 1374 1010"> <tr> <td data-bbox="293 815 504 913">メリット</td> <td data-bbox="504 815 1374 913">各校の特色を生かせ、活動時の小回りが利く</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 913 504 1010">デメリット</td> <td data-bbox="504 913 1374 1010">狭い地区内での連携となり、小中連携がとりにくい</td> </tr> </table>	メリット	各校の特色を生かせ、活動時の小回りが利く	デメリット	狭い地区内での連携となり、小中連携がとりにくい
メリット	各校の特色を生かせ、活動時の小回りが利く				
デメリット	狭い地区内での連携となり、小中連携がとりにくい				
<b>B</b>	<p data-bbox="293 1146 855 1182">同種の複数の学校が集まって組織</p>  <table border="1" data-bbox="293 1637 1374 1832"> <tr> <td data-bbox="293 1637 504 1736">メリット</td> <td data-bbox="504 1637 1374 1736">小規模の学校が集まって、連携活動するのに利がある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 1736 504 1832">デメリット</td> <td data-bbox="504 1736 1374 1832">連携する数が多くなると、委員選定が難しくなる</td> </tr> </table>	メリット	小規模の学校が集まって、連携活動するのに利がある	デメリット	連携する数が多くなると、委員選定が難しくなる
メリット	小規模の学校が集まって、連携活動するのに利がある				
デメリット	連携する数が多くなると、委員選定が難しくなる				

**C**

中学校区で組織・・・運営協議会が同一メンバーで組織

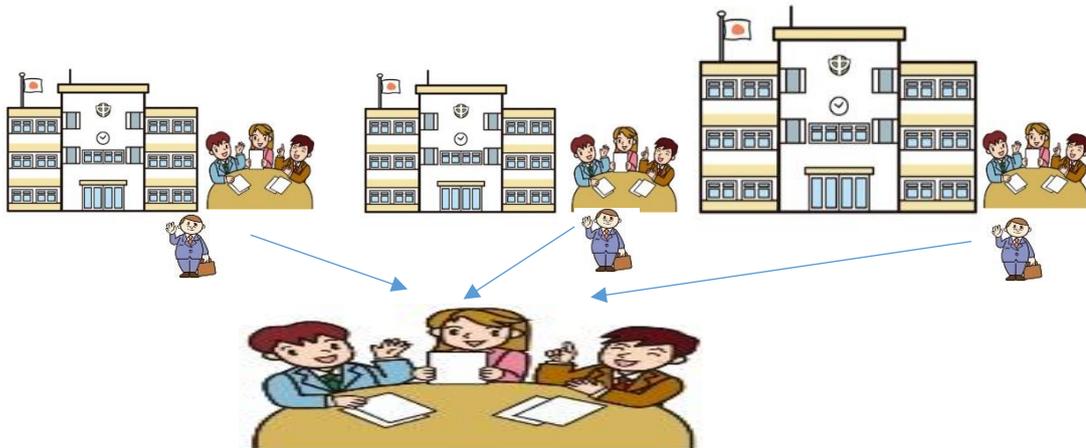


※運営協議会のメンバーは3校とも同じメンバーで組織され、  
3校合同で活動する。

メリット	小中連携が図れ、地区内の多数の組織と連携も取りやすい  (小規模校が集まった地区には有効か)
デメリット	小中の微妙な教育の違いに対応しにくい

**D**

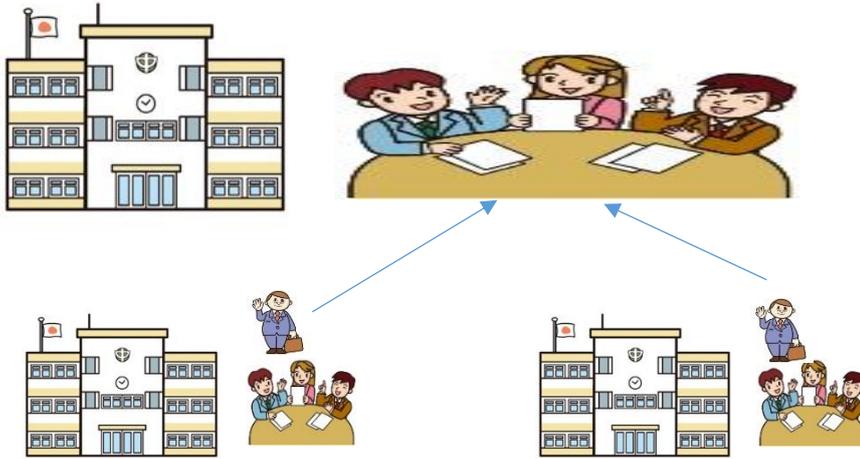
中学校区で組織・・・各校の学校運営協議会委員のうちの  
代表理事が「合同運営協議会」として、一堂に集う形態



メリット	各校の小回りも利き、広く地域の協力も得やすい
デメリット	理事の方の負担が大きい

**E**

中学校区で組織・・・中学校の協議会に小学校の代表理事も参加する形態

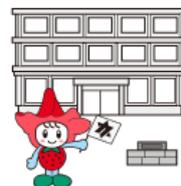


メリット	小中の特性も生かせ、小中連携も図れる  (小学校の小規模校が集まった地区には有効か)
デメリット	小学校の理事の負担が大きい

# 学校運営協議会メンバーは



## コミスク委員は・・・



学校教育に熱意をもって協力してくださる方  
長期にわたって協力してくださる方  
が理想です。

また、活動にあたって、関係諸機関との協働が大切になってきますので、以下のような方を考えてもよいでしょう。

関係諸機関の例	
1	自治会協議会関係者
2	その他自治会関係者
3	コミュニティ推進協議会関係者
4	民生児童委員協議会関係者
5	婦人防火クラブ関係者
6	老人クラブ関係者
7	交通安全協会関係者
8	少年指導員
9	コミセン所長
10	地区内小中学校校長
11	子ども会育成会関係者
12	スポ少関係者
13	P T A 会長
14	P T A 関係者
15	地区内小中学校 P T A 会長
16	地域コーディネーター

その他にも地区に存在する関係諸機関の方にも打診してもいいでしょう。

※鹿沼市は15名以内。(当該校教職員を除いた数)

## コミュニティ・スクールのメンバーは、どんな人が…

### 【 全国の例 】



学校	メンバー
<b>A</b> 	・自治会長 ・地区ボランティア法人代表 ・民生児童委員協議会長 ・青少年市民会議会長 ・スポ少団長 ・育成会会長 ・PTA会長 ・幼稚園園長 ・校長 ・教頭 ・地域連携推進教員 計 15 名
<b>B</b> 	・前協議会会長 ・スポーツ推進委員 ・青少年委員 ・PTA会長 ・PTA副会長 ・自治会長 ・同窓会会長 ・主任児童委員 ・自治会長 ・育成会会長 ・地域協力者 ・校長 ・教頭 計 28 名
<b>C</b> 	・地域代表 4 名 ・保護者代表 3 名 ・教職員 4 名 ・教育委員会 2 名 計 13 名
<b>D</b> 	・大学教授 ・地区区長 ・弁護士 ・民生児童委員代表 ・地域有識者 ・見守りボランティア代表 ・地域コーディネーター ・PTA会長 ・学校関係者 計 14 名
<b>F</b> 	・公民館長 ・青少年育成協議会代表 ・老人会代表 ・民生児童委員代表 ・婦人会代表 ・PTA本部役員 ・PTA各部委員長 ・元学校関係者 ・校長 ・教頭 ・教務 計 18 名

★ 地域のコミセンや教育委員会と相談するとよいでしょう。

# 学校運営協議会の

# 会議の内容は……



## 学校運営協議会の会議って何をするの

と聞かれたら・・・

- 1 熟議
- 2 協働
- 3 マネジメント



でもね、大事なことは、  
学校と地域が課題を共有し  
地域の子どもたちをどう育  
てるか、共通のビジョンを  
持つことだよ。

「この3つだよ。」

ちょっと乱暴ですが、こう言っても過言ではありません。

文部科学省は、これを3つの役割（機能）と呼んでいます。学校運営協議会の中でこれを行うことにより地域とのネットワークがしっかりとれ、持続可能な取組となるでしょう。

### 1 熟議って？

- 会議の際、「校長が作成する学校運営の基本方針」を質疑応答しながら十分理解すること。（その後、承認）
- 学校評価から、児童や保護者、教職員がどのように現状を考えているのかを知り、現在（地域）の教育の現状と課題をつかむこと。
- 学校を核とした地域作りのために、どんなことができるだろうかということを様々な立場の委員が意見を交わし、子供たちのためにできることは何かを提案していくこと

### 2 協働って？

- 熟議した内容で、地域づくり（学校づくり）のためにできる具体的な活動を実践するための計画や実践の支援をすること。

### 3 マネジメントって？

- 計画の実践のために、どのように支援するかを考え、調整していくこと。

★ これを行うために部会を設け、その部会に委員を振り分けて分業体制を取る方法もある。導入後、ゆっくり考えていってもよいと思う。

## 学校運営協議会 会議内容（例）

※導入時1～2年は、熟議を十分行うとよいでしょう。以下の内容は、主にそれが進んできた後の会議内容です。参考にしてください。

	主 な 内 容
1 学期	<p>● 第1回会議</p> <p>(1) 委任状授与</p> <p>(2) 鹿沼市コミスク規則確認</p> <p>(3) 協議</p> <p>① 会長・副会長の選出</p> <p>② 校長からの学校運営の方針説明</p> <p>③ 規約の制定</p> <p>※規約素案を1～2年かけて作成し、その後確定する旨の確認</p> <p>④ コミスク組織の検討</p> <p>※初年度は、ここまで行わなくてもよいか。 地域、学校の特性に応じて作成した組織素案を作成し、それを元に検討していくやり方もあります。</p> <p>【必要性が出てきたら・・・】</p> <p>★ 部会のメンバーもここで検討する。</p> <p>★ 部会の活動内容を検討する。</p> <p>(4) その他</p> <p>① 予算について</p> <p>② コミスクのHP・コミスクだよりについて</p> <p>◎ 事務局の立ち上げが必要かどうかの検討も含む。 事務局を学校外に置く場合は、（事務局が正式に立ち上がるまで）教頭（または、学校担当者）がそれにかわる。</p> <p>※これも徐々に考えていくとよいかもしれません。</p>
2 学期	<p>● 第2回会議</p> <p>(1) 協議</p> <p>① 学校の現状と課題（前期学校評価より）</p> <p>② 部会の活動内容の検討</p> <p>※部会を作ると、何について話すといいか焦点化できるので便利です。ゆっくり考えて作るのもいいし、実態に合わせて、初めに作るのもいいかもしれません。十分に話し合っ、できることがあったら（新しいものを作り上げるのではなく、既存のもの調整・連携が望ましい）活動を始めてみるのもいいでしょう。</p> <p>(2) その他</p>
3 学期	<p>● 第3回会議</p> <p>(1) 協議</p> <p>① 学校の現状と課題（後期学校評価より）</p> <p>② 部会の活動の進捗状況の確認</p> <p>③ 今年度のコミスクの成果と課題（自己評価を含む）</p> <p>④ 次年度のコミスクの取組</p> <p>(2) その他</p>

この二つは、最初の年から行います。



実際に動くとなると・・・

部会があると便利です



# コミュニティ・スクールの部会って

と聞かれたら・・・・・・・・・・

## ●それぞれの地域にあった部会を作っていくといい

〈A小学校の例〉

- 1 安全安心部会・・・子どもたちとともに考える地域防災
- 2 福祉部会・・・・・・・・子どもたちとともに共助できる地域福祉
- 3 教育部会・・・・・・・・子どもたちの教育環境を整え、地域住民が参画し、学び合える豊かな教育
- 4 環境部会・・・・・・・・子どもたちとともに環境美化・環境整備

### 部会と学校運営協議会委員の役割分担(例)

部会	学校運営協議会委員
<b>安全安心部会</b>	○安全安心対策委員会会長 <span style="color: red;">○教頭</span> ○交通安全協会関係者 ○少年指導員、スクールガードリーダー
<b>福祉部会</b>	○自治会長 ○民生児童委員協議会関係者 ○青少年市民会議関係者
<b>教育部会</b>	○地域コーディネーター <span style="color: red;">○地域連携教員</span> ○学区内の幼稚園・保育園関係者
<b>環境部会</b>	○スポーツ少年団関係者 ○PTA関係者 ○育成会関係者



## コミュニティ・スクールの部会は、他にどんなものが・・・

### 【 全国の例 】

学校	部会の名称			
<b>A</b>	先生支援部	児童支援部	環境支援活動部	
<b>B</b>	学習支援部	交流支援部	生活支援部	
<b>C</b>	学習支援部	地域交流部	環境整備部	
<b>D</b>	学習支援部	あいさつ部	どくしょ部	はたらく部
<b>E</b>	地域支援部	学習支援部	環境安全部	研修・広報部
<b>F</b>	地域連携部	学習支援部	環境安全部	広報部
	子育て支援部			

※ 3～5部会あるようです

★ 地域と学校にあった部会を作るとよいでしょう。



# コミスク推進のスケジュール

おおよそこんな風に進めてみては…



## コミスク推進スケジュール（例）

### 〈導入前年度〉

	主な内容
1 学期	① コミスク導入についての教職員・PTA・学校評議員への周知と共通理解を図る。（地域への説明も大切） ② 次年度の学校運営協議会委員（コミスク委員）の選定開始 ※地域にあるコミセン（公民館）のアドバイスを得る。
2 学期	① 次年度学校運営協議会委員（コミスク委員）の内定を得る。 ② 委員長になっていただける方との打合せ ・地域にあったコミスクの方針 ・地域にあったコミスクの進め方 ③ コミスク規約の素案づくり ④ コミスク組織の素案づくり
3 学期	① コミスク導入の保護者や地域住民への周知 ※HPや学校だより等で ② 教育委員会と学校運営協議会委員長（コミスク委員長）、校長、教頭の打合せ ・次年度の方針の検討 ・次年度のコミスクの進め方の確認 ・コミスク会議の日程調整 ※第1回目は、教育委員会担当出席
留意点	★学校評議員会は、導入前は継続して行い、コミスク導入の理解を求めていく。

### 〈導入1年目〉

	主な内容
1 学期	① 第1回目の会議の打合せ（教育委員会担当、学校運営協議会委員長、校長、教頭等） ② 第1回会議
2 学期	① 第2回目の会議の打合せ（教育委員会担当、学校運営協議会委員長、校長、教頭等） ② 第2回会議
3 学期	① 第3回目の会議の打合せ（教育委員会担当、学校運営協議会委員長、校長、教頭等） ② 第3回会議

※事務局が行政にある学校（地区）は、打合せに行政職員も入れるとよい。

### 〈導入2年目〜〉

- 前年度の振り返りを元に、地域にあったコミスクを作り上げていく。

**人がかわっても継続できるコミスクの組織作りを目指したい。**